

【3-4 クリニカルクエスチョンの設定 記入例①】

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)				
<p>重要臨床課題 2: 「成人の治療オプション」</p> <p>高血圧症の治療は、生活習慣へのアドバイスと薬物治療の両方が関わる。心血管リスクが低く、心血管疾患、臓器障害がない場合は、軽症の高血圧患者の管理は、生活習慣アドバイスのみで十分な場合もある。高血圧症の薬物療法には、様々な薬剤が利用可能である。患者個人毎に、薬物治療への反応は異なり、すべての患者に共通して最適な薬物は存在しない。白人に対する降圧剤の第一選択薬として、カルシウムチャンネル拮抗薬 (Ca 拮抗薬)、ARB または ACE 阻害薬 (ACEi)、サイアザイド様の利尿薬が使用されているが、どれが最適であるかについては定まっていない。白人の成人を 55 歳未満、55 歳以上に分けて、第一選択薬としてどれが最適か検討する。</p>				
CQ の構成要素				
P (Patients, Problem, Population)				
性別	(指定なし ・ 男性 ・ 女性)			
年齢	(指定無し ・ 成人 (18~54 歳))			
疾患・病態	高血圧症 (収縮期血圧 140mmHg 以上または拡張期血圧 90mmHg 以上)			
地理的要件	特になし			
その他	白人			
I (Interventions) / C (Comparisons, Controls, Comparators) のリスト				
・ カルシウムチャンネル拮抗薬 ・ ACEi / ARB ・ 利尿薬				
O (Outcomes) のリスト				
	Outcome の内容	益か害か	重要度	採用可否
0 ₁	全死亡率の低下	(益 ・ 害)	9 点	○
0 ₂	脳卒中の予防	(益 ・ 害)	8 点	○
0 ₃	虚血性心疾患の予防	(益 ・ 害)	8 点	○
0 ₄	高尿酸血症の発症	(益 ・ 害)	6 点	○
0 ₅	糖尿病の発症	(益 ・ 害)	6 点	○
0 ₆				
0 ₇				
0 ₈		(益 ・ 害)	_____点	
0 ₉		(益 ・ 害)	_____点	
0 ₁₀		(益 ・ 害)	_____点	
作成した CQ				
高血圧症を有する 55 歳未満の白人の成人において、第一選択の単剤投与として、カルシウムチャンネル拮抗薬、ACEi / ARB、利尿薬のいずれを用いることが推奨されるか？				

【3-4 クリニカルクエスチョンの設定 記入例②】

スコープで取り上げた重要臨床課題 (Key Clinical Issue)				
○脳梗塞に対する急性期治療としての血栓溶解療法(静脈内投与)の有効性について検討する。				
○2009年のガイドラインでは、血栓溶解療法は発症後3時間以内の投与に限られていた。				
○これを、発症3時間を越えた患者への投与の有効性について検討する。				
CQの構成要素				
P (Patients, Problem, Population)				
性別	(指定なし ・ 男性 ・ 女性)			
年齢	(指定なし ・ 80歳未満)			
疾患・病態	発症後3時間を越えた急性脳梗塞患者			
地理的要件	特になし			
その他	日本人			
I (Interventions) / C (Comparisons, Controls, Comparators) のリスト				
<ul style="list-style-type: none"> ・6時間以内のrt-PA投与 ・投与しない 				
O (Outcomes) のリスト				
	Outcomeの内容	益か害か	重要度	採用可否
0 ₁	総死亡率の低下	(益 ・ 害)	7点	○
0 ₂	脳卒中の予防	(益 ・ 害)	9点	○
0 ₃	虚血性心疾患の予防	(益 ・ 害)	6点	○
0 ₄		(益 ・ 害)	____点	
0 ₅		(益 ・ 害)	____点	
0 ₆		(益 ・ 害)	____点	
0 ₇		(益 ・ 害)	____点	
0 ₈		(益 ・ 害)	____点	
0 ₉		(益 ・ 害)	____点	
0 ₁₀		(益 ・ 害)	____点	
作成したCQ				
80歳未満の発症後3時間を越えた急性脳梗塞患者に対して、6時間以内のrt-PA投与を推奨するか？				